

村本 卓 様

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	データサイエンス入門 地域経営Aクラス		
(副題)			
開講責任部署	大学共通		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	金曜日	代表時限	2時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	地域経営/人間健康/看護		
対象年次	1		

### 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 村本 卓	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科
教授	坂本 貴博	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<p>この授業の到達点として、以下が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. AIやDXなど現代の情報用語を適切に説明できる。</li> <li>2. 情報科学とデータ分析について説明でき、かつ活用することができる。</li> <li>3. 地域経営学部では、統計学や経営情報論、人間健康学部では心理統計学、保健統計学、疫学などのデータを扱う上位科目で、この授業で得られた知識を活用し応用できる。</li> </ol>
授業概要(教育目的)	<p>現在の情報化社会の進展や人々の生活の多様性を理解するにおいてデータ分析の果たす役割は大きい。とりわけエビデンスという用語に集約されるように、データに基づく客観的判断や判断根拠が重要視されている。さらにAIやDXに代表されるように、我が国全体としてデジタル化がより一層推進されている。</p> <p>そのような社会的現状を踏まえて本授業では、データの科学的分析、情報化社会の進展とデータ役割の基礎的内容について、情報科学とデータ分析の関係について講じる。</p> <p>本科目では、近年の情報化社会、デジタル社会において様々なデータを適切な科学的方法で分析できる基本的考えを身につけるとともに、現代社会における情報科学のリテラシーを習得することを目的とする。</p>
授業計画概要	<p>第1回 データサイエンスとは (AI・データサイエンスを学ぶ重要性)</p> <p>第2回 社会で起きている変化を知る (Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G)</p> <p>第3回 社会で活用されているデータ (リサーチ(調査)データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等)</p> <p>第4回 データとAI活用領域 (データ・AIを何につかえるのか: デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等)</p> <p>第5回 データとAI活用のための技術 (AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等)</p> <p>第6回 データとAIの活用現場と最前線 (データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ)</p> <p>第7回 データリテラシー① データ活用のプロセス (目的設定-データ収集-分析-考察-表現) とデータの種類</p> <p>第8回 データリテラシー② データの分布と代表値とその意味</p> <p>第9回 データリテラシー③ データのバラつき</p> <p>第10回 データリテラシー④ 相関と回帰の違い</p> <p>第11回 データリテラシー⑤ データ間での因果関係</p> <p>第12回 データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (実データ検討)</p> <p>第13回 データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (テキストマイニング解析含む) (実データ検討)</p> <p>第14回 データ・AIを扱う留意事項 (データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ)</p>

第15回 データを守る（個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う）

授業計画表

※事前事後学習（予習・復習）に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義（90分）に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。

回	内容	予習	復習
第1回	データサイエンスとは（AI・データサイエンスを学ぶ重要性）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第2回	社会で起きている変化を知る（Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第3回	社会で活用されているデータ（リサーチ（調査）データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第4回	データとAI活用領域（データ・AIを何につかえるのか：デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第5回	データとAI活用のための技術（AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第6回	データとAIの活用現場と最前線（データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第7回	データリテラシー① データ活用のプロセス（目的設定-データ収集-分析-考察-表現）とデータの種類	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第8回	データリテラシー② データの分布と代表値とその意味	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第9回	データリテラシー③ データのバラつき	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第10回	データリテラシー④ 相関と回帰の違い	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第11回	データリテラシー⑤ データ間での因果関係	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第12回	データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習（実データ検討）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第13回	データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習（テキストマイニング解析含む）（実データ検討）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第14回	データ・AIを扱う留意事項（データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第15回	データを守る（個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

評価方法	小テスト、演習課題等により総合的に評価する
参考文献	必要に応じて適宜指示する。
講義時使用テキスト	教科書は使用しない。
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理基礎をはじめ情報関連の科目、数学などの自然科学の分野を併せて履修することが望ましい。</li> <li>・情報化社会は現在の私たちが生活している中で着々と進展していることから、情報やデータがどのように生活に関わっているか意識することが望ましい。</li> </ul>

課題に対するフィードバック方法

次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

[ウィンドウを閉じる](#)

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	データサイエンス入門 地域経営Bクラス		
(副題)			
開講責任部署	大学共通		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	月曜日	代表時限	4時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	地域経営/人間健康/看護		
対象年次	1		

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 村本 卓	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科
教授	坂本 貴博	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科
教授	田村 正文	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<p>この授業の到達点として、以下が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. AIやDXなど現代の情報用語を適切に説明できる。</li> <li>2. 情報科学とデータ分析について説明でき、かつ活用することができる。</li> <li>3. 地域経営学部では、統計学や経営情報論、人間健康学部では心理統計学、保健統計学、疫学などのデータを扱う上位科目で、この授業で得られた知識を活用し応用できる。</li> </ol>
授業概要(教育目的)	<p>現在の情報化社会の進展や人々の生活の多様性を理解するにおいてデータ分析の果たす役割は大きい。とりわけエビデンスという用語に集約されるように、データに基づく客観的判断や判断根拠が重要視されている。さらにAIやDXに代表されるように、我が国全体としてデジタル化がより一層推進されている。</p> <p>そのような社会的現状を踏まえて本授業では、データの科学的分析、情報化社会の進展とデータ役割の基礎的内容について、情報科学とデータ分析の関係について講じる。</p> <p>本科目では、近年の情報化社会、デジタル社会において様々なデータを適切な科学的方法で分析できる基本的考えを身につけるとともに、現代社会における情報科学のリテラシーを習得することを目的とする。</p>
授業計画概要	<p>第1回 データサイエンスとは (AI・データサイエンスを学ぶ重要性)</p> <p>第2回 社会で起きている変化を知る (Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G)</p> <p>第3回 社会で活用されているデータ (リサーチ(調査)データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等)</p> <p>第4回 データとAI活用領域 (データ・AIを何につかえるのか: デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等)</p> <p>第5回 データとAI活用のための技術 (AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等)</p> <p>第6回 データとAIの活用現場と最前線 (データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ)</p> <p>第7回 データリテラシー① データ活用のプロセス (目的設定-データ収集-分析-考察-表現) とデータの種類</p> <p>第8回 データリテラシー② データの分布と代表値とその意味</p> <p>第9回 データリテラシー③ データのバラつき</p> <p>第10回 データリテラシー④ 相関と回帰の違い</p> <p>第11回 データリテラシー⑤ データ間での因果関係</p> <p>第12回 データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (実データ検討)</p> <p>第13回 データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (テキストマイニング解析含む) (実データ検討)</p>

第14回 データ・AIを扱う留意事項（データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ）  
 第15回 データを守る（個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う）

授業計画表

※事前事後学習（予習・復習）に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義（90分）に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。

回	内容	予習	復習
第1回	データサイエンスとは（AI・データサイエンスを学ぶ重要性）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第2回	社会で起きている変化を知る（Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第3回	社会で活用されているデータ（リサーチ（調査）データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第4回	データとAI活用領域（データ・AIを何につかえるのか：デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第5回	データとAI利活用のための技術（AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第6回	データとAIの活用現場と最前線（データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第7回	データリテラシー① データ活用のプロセス（目的設定-データ収集-分析-考察-表現）とデータの種類	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第8回	データリテラシー② データの分布と代表値とその意味	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第9回	データリテラシー③ データのパラつき	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第10回	データリテラシー④ 相関と回帰の違い	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第11回	データリテラシー⑤ データ間での因果関係	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第12回	データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習（実データ検討）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第13回	データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習（テキストマイニング解析含む）（実データ検討）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第14回	データ・AIを扱う留意事項（データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第15回	データを守る（個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

評価方法	小テスト、演習課題等により総合的に評価する
参考文献	必要に応じて適宜指示する。
講義時使用テキスト	教科書は使用しない。
学生へのメッセージ	・情報処理基礎をはじめ情報関連の科目、数学などの自然科学の分野を併せて履修することが望ましい。

	・情報化社会は現在の私たちが生活している中で着々と進展していることから、情報やデータがどのように生活に関わっているか意識することが望ましい。
課題に対するフィードバック方法	次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

[ウインドウを閉じる](#)

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	データサイエンス入門 人間健康Aクラス		
(副題)			
開講責任部署	大学共通		
講義開講時期	後期後半	講義区分	
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	地域経営/人間健康/看護		
対象年次	1		

## 担当教員

職種	氏名	所属
助教	◎ 埴原 啓正	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<p>この授業の到達点として、以下が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. AIやDXなど現代の情報用語を適切に説明できる。</li> <li>2. 情報科学とデータ分析について説明でき、かつ活用することができる。</li> <li>3. 地域経営学部では、統計学や経営情報論、人間健康学部では心理統計学、保健統計学、疫学などのデータを扱う上位科目で、この授業で得られた知識を活用し応用できる。</li> </ol>
授業概要(教育目的)	<p>現在の情報化社会の進展や人々の生活の多様性を理解するにおいてデータ分析の果たす役割は大きい。とりわけエビデンスという用語に集約されるように、データに基づく客観的判断や判断根拠が重要視されている。さらにAIやDXに代表されるように、我が国全体としてデジタル化がより一層推進されている。</p> <p>そのような社会的現状を踏まえて本授業では、データの科学的分析、情報化社会の進展とデータ役割の基礎的内容について、情報科学とデータ分析の関係について講じる。</p> <p>本科目では、近年の情報化社会、デジタル社会において様々なデータを適切な科学的方法で分析できる基本的考えを身につけるとともに、現代社会における情報科学のリテラシーを習得することを目的とする。</p>
授業計画概要	<p>第1回 データサイエンスとは (AI・データサイエンスを学ぶ重要性)</p> <p>第2回 社会で起きている変化を知る (Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G)</p> <p>第3回 社会で活用されているデータ (リサーチ(調査)データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等)</p> <p>第4回 データとAI活用領域 (データ・AIを何につかえるのか: デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等)</p> <p>第5回 データとAI活用のための技術 (AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等)</p> <p>第6回 データとAIの活用現場と最前線 (データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ)</p> <p>第7回 データリテラシー① データ活用のプロセス (目的設定-データ収集-分析-考察-表現) とデータの種類</p> <p>第8回 データリテラシー② データの分布と代表値とその意味</p> <p>第9回 データリテラシー③ データのバラつき</p> <p>第10回 データリテラシー④ 相関と回帰の違い</p> <p>第11回 データリテラシー⑤ データ間での因果関係</p> <p>第12回 データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (実データ検討)</p> <p>第13回 データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (テキストマイニング解析含む) (実データ検討)</p> <p>第14回 データ・AIを扱う留意事項 (データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ)</p> <p>第15回 データを守る (個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う)</p>

授業計画表

第1回

回	担当教員・担当教員フリーテキスト	内容	予習	復習
第1回	埴原 啓正	データサイエンスとは（AI・データサイエンスを学ぶ重要性）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第2回	埴原 啓正	社会で起きている変化を知る（Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第3回	埴原 啓正	社会で活用されているデータ（リサーチ（調査）データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第4回	埴原 啓正	データとAI活用領域（データ・AIを何につかえるのか：デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第5回	埴原 啓正	データとAI利活用のための技術（AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第6回	埴原 啓正	データとAIの活用現場と最前線（データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第7回	埴原 啓正	データリテラシー① データ活用のプロセス（目的設定-データ収集-分析-考察-表現）とデータの種類	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第8回	埴原 啓正	データリテラシー② データの分布と代表値とその意味	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第9回	埴原 啓正	データリテラシー③ データのパラつき	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第10回	埴原 啓正	データリテラシー④ 相関と回帰の違い	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第11回	埴原 啓正	データリテラシー⑤ データ間での因果関係	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第12回	埴原 啓正	データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習（実データ検討）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第13回	埴原 啓正	データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習（テキスト	WebClassにアップロードしている授業用スラ	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Web

		マイニング解析含む）（実データ検討）	イド・参考資料を読んでもおくこと。	サイト等を利用して確認しておくこと。
第14回	埴原 啓正	データ・AIを扱う留意事項（データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでもおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第15回	埴原 啓正	データを守る（個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでもおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
評価方法	小テスト、演習課題等により総合的に評価する			
参考文献	必要に応じて適宜指示する。			
講義時使用テキスト	教科書は使用しない。			
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理基礎をはじめ情報関連の科目、数学などの自然科学の分野を併せて履修することが望ましい。</li> <li>・情報化社会は現在の私たちが生活している中で着々と進展していることから、情報やデータがどのように生活に関わっているか意識することが望ましい。</li> </ul>			
課題に対するフィードバック方法	次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。			

[ウインドウを閉じる](#)

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	データサイエンス入門 人間健康Bクラス		
(副題)			
開講責任部署	大学共通		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	金曜日	代表時限	4時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	地域経営/人間健康/看護		
対象年次	1		

## 担当教員

職種	氏名	所属
助教	◎ 埴原 啓正	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<p>この授業の到達点として、以下が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. AIやDXなど現代の情報用語を適切に説明できる。</li> <li>2. 情報科学とデータ分析について説明でき、かつ活用することができる。</li> <li>3. 地域経営学部では、統計学や経営情報論、人間健康学部では心理統計学、保健統計学、疫学などのデータを扱う上位科目で、この授業で得られた知識を活用し応用できる。</li> </ol>
授業概要(教育目的)	<p>現在の情報化社会の進展や人々の生活の多様性を理解するにおいてデータ分析の果たす役割は大きい。とりわけエビデンスという用語に集約されるように、データに基づく客観的判断や判断根拠が重要視されている。さらにAIやDXに代表されるように、我が国全体としてデジタル化がより一層推進されている。</p> <p>そのような社会的現状を踏まえて本授業では、データの科学的分析、情報化社会の進展とデータ役割の基礎的内容について、情報科学とデータ分析の関係について講じる。</p> <p>本科目では、近年の情報化社会、デジタル社会において様々なデータを適切な科学的方法で分析できる基本的考えを身につけるとともに、現代社会における情報科学のリテラシーを習得することを目的とする。</p>
授業計画概要	<p>第1回 データサイエンスとは (AI・データサイエンスを学ぶ重要性)</p> <p>第2回 社会で起きている変化を知る (Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G)</p> <p>第3回 社会で活用されているデータ (リサーチ(調査)データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等)</p> <p>第4回 データとAI活用領域 (データ・AIを何につかえるのか: デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等)</p> <p>第5回 データとAI活用のための技術 (AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等)</p> <p>第6回 データとAIの活用現場と最前線 (データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ)</p> <p>第7回 データリテラシー① データ活用のプロセス (目的設定-データ収集-分析-考察-表現) とデータの種類</p> <p>第8回 データリテラシー② データの分布と代表値とその意味</p> <p>第9回 データリテラシー③ データのバラつき</p> <p>第10回 データリテラシー④ 相関と回帰の違い</p> <p>第11回 データリテラシー⑤ データ間での因果関係</p> <p>第12回 データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (実データ検討)</p> <p>第13回 データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (テキストマイニング解析含む) (実データ検討)</p> <p>第14回 データ・AIを扱う留意事項 (データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ)</p> <p>第15回 データを守る (個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う)</p>

授業計画表

※事前事後学習（予習・復習）に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義（90分）に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。

回	担当教員・担当教員フリーテキスト	内容	予習	復習
第1回	埴原 啓正	データサイエンスとは（AI・データサイエンスを学ぶ重要性）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第2回	埴原 啓正	社会で起きている変化を知る（Society5.0・AI・IoT・ビッグデータ・5G）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第3回	埴原 啓正	社会で活用されているデータ（リサーチ（調査）データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第4回	埴原 啓正	データとAI活用領域（データ・AIを何につかえるのか：デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第5回	埴原 啓正	データとAI利活用のための技術（AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第6回	埴原 啓正	データとAIの活用現場と最前線（データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第7回	埴原 啓正	データリテラシー① データ活用のプロセス（目的設定-データ収集-分析-考察-表現）とデータの種類	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第8回	埴原 啓正	データリテラシー② データの分布と代表値とその意味	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第9回	埴原 啓正	データリテラシー③ データのバラつき	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第10回	埴原 啓正	データリテラシー④ 相関と回帰の違い	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第11回	埴原 啓正	データリテラシー⑤ データ間での因果関係	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第12回	埴原 啓正	データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習（実データ検討）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第13回	埴原 啓正	データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習（テキスト	WebClassにアップロードしている授業用スラ	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

		マイニング解析含む）（実データ検討）	イド・参考資料を読ん でおくこと。	ば、参考図書、We b サイト等を利用して確 認しておくこと。
第14回	埴原 啓正	データ・AIを扱う留意事項（データ 活用の負の側面・関連法制度・AI倫 理・ELSIについて学ぶ）	WebClassにアップロー ドしている授業用スラ イド・参考資料を読ん でおくこと。	授業の内容について整 理し、不明な点があれ ば、参考図書、We b サイト等を利用して確 認しておくこと。
第15回	埴原 啓正	データを守る（個人情報を守るため の自己防衛策について学ぶ・AI導入 による負の事例調査を行う）	WebClassにアップロー ドしている授業用スラ イド・参考資料を読ん でおくこと。	授業の内容について整 理し、不明な点があれ ば、参考図書、We b サイト等を利用して確 認しておくこと。
評価方法	小テスト、演習課題等により総合的に評価する			
参考文献	必要に応じて適宜指示する。			
講義時使用テキスト	教科書は使用しない。			
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理基礎をはじめ情報関連の科目、数学などの自然科学の分野を併せて履修することが望まし い。</li> <li>・情報化社会は現在の私たちが生活している中で着々と進展していることから、情報やデータがどのよ うに生活に関わっているか意識することが望ましい。</li> </ul>			
課題に対するフィードバック方法	次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。			

[ウインドウを閉じる](#)

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	データサイエンス入門 看護Aクラス		
(副題)			
開講責任部署	大学共通		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	地域経営/人間健康/看護		
対象年次	1		

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 村本 卓	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科
教授	田村 正文	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科
准教授	馬場 祥次	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<p>この授業の到達点として、以下が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. AIやDXなど現代の情報用語を適切に説明できる。</li> <li>2. 情報科学とデータ分析について説明でき、かつ活用することができる。</li> <li>3. 地域経営学部では、統計学や経営情報論、人間健康学部では心理統計学、保健統計学、疫学などのデータを扱う上位科目で、この授業で得られた知識を活用し応用できる。</li> </ol>
授業概要(教育目的)	<p>現在の情報化社会の進展や人々の生活の多様性を理解するにおいてデータ分析の果たす役割は大きい。とりわけエビデンスという用語に集約されるように、データに基づく客観的判断や判断根拠が重要視されている。さらにAIやDXに代表されるように、我が国全体としてデジタル化がより一層推進されている。</p> <p>そのような社会的現状を踏まえて本授業では、データの科学的分析、情報化社会の進展とデータ役割の基礎的内容について、情報科学とデータ分析の関係について講じる。</p> <p>本科目では、近年の情報化社会、デジタル社会において様々なデータを適切な科学的方法で分析できる基本的考えを身につけるとともに、現代社会における情報科学のリテラシーを習得することを目的とする。</p>
授業計画概要	<p>第1回 データサイエンスとは (AI・データサイエンスを学ぶ重要性)</p> <p>第2回 社会で起きている変化を知る (Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G)</p> <p>第3回 社会で活用されているデータ (リサーチ(調査)データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等)</p> <p>第4回 データとAI活用領域 (データ・AIを何につかえるのか: デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等)</p> <p>第5回 データとAI活用のための技術 (AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等)</p> <p>第6回 データとAIの活用現場と最前線 (データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ)</p> <p>第7回 データリテラシー① データ活用のプロセス (目的設定-データ収集-分析-考察-表現) とデータの種類</p> <p>第8回 データリテラシー② データの分布と代表値とその意味</p> <p>第9回 データリテラシー③ データのバラつき</p> <p>第10回 データリテラシー④ 相関と回帰の違い</p> <p>第11回 データリテラシー⑤ データ間での因果関係</p> <p>第12回 データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (実データ検討)</p> <p>第13回 データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (テキストマイニング解析含む) (実データ検討)</p>

第14回 データ・AIを扱う留意事項（データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ）  
 第15回 データを守る（個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う）

授業計画表

※事前事後学習（予習・復習）に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義（90分）に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。

回	内容	予習	復習
第1回	データサイエンスとは（AI・データサイエンスを学ぶ重要性）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第2回	社会で起きている変化を知る（Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第3回	社会で活用されているデータ（リサーチ（調査）データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第4回	データとAI活用領域（データ・AIを何につかえるのか：デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第5回	データとAI利活用のための技術（AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第6回	データとAIの活用現場と最前線（データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第7回	データリテラシー① データ活用のプロセス（目的設定-データ収集-分析-考察-表現）とデータの種類	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第8回	データリテラシー② データの分布と代表値とその意味	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第9回	データリテラシー③ データのパラつき	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第10回	データリテラシー④ 相関と回帰の違い	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第11回	データリテラシー⑤ データ間での因果関係	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第12回	データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習（実データ検討）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第13回	データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習（テキストマイニング解析含む）（実データ検討）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第14回	データ・AIを扱う留意事項（データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第15回	データを守る（個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

評価方法	小テスト、演習課題等により総合的に評価する
参考文献	必要に応じて適宜指示する。
講義時使用テキスト	教科書は使用しない。
学生へのメッセージ	・情報処理基礎をはじめ情報関連の科目、数学などの自然科学の分野を併せて履修することが望ましい。

	・情報化社会は現在の私たちが生活している中で着々と進展していることから、情報やデータがどのように生活に関わっているか意識することが望ましい。
課題に対するフィードバック方法	次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

[ウインドウを閉じる](#)

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	データサイエンス入門 看護Bクラス		
(副題)			
開講責任部署	大学共通		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	火曜日	代表時限	2時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	地域経営/人間健康/看護		
対象年次	1		

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 坂本 貴博	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科
教授	田村 正文	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<p>この授業の到達点として、以下が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. AIやDXなど現代の情報用語を適切に説明できる。</li> <li>2. 情報科学とデータ分析について説明でき、かつ活用することができる。</li> <li>3. 地域経営学部では、統計学や経営情報論、人間健康学部では心理統計学、保健統計学、疫学などのデータを扱う上位科目で、この授業で得られた知識を活用し応用できる。</li> </ol>
授業概要(教育目的)	<p>現在の情報化社会の進展や人々の生活の多様性を理解するにおいてデータ分析の果たす役割は大きい。とりわけエビデンスという用語に集約されるように、データに基づく客観的判断や判断根拠が重要視されている。さらにAIやDXに代表されるように、我が国全体としてデジタル化がより一層推進されている。</p> <p>そのような社会的現状を踏まえて本授業では、データの科学的分析、情報化社会の進展とデータ役割の基礎的内容について、情報科学とデータ分析の関係について講じる。</p> <p>本科目では、近年の情報化社会、デジタル社会において様々なデータを適切な科学的方法で分析できる基本的考えを身につけるとともに、現代社会における情報科学のリテラシーを習得することを目的とする。</p>
授業計画概要	<p>第1回 データサイエンスとは (AI・データサイエンスを学ぶ重要性)</p> <p>第2回 社会で起きている変化を知る (Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G)</p> <p>第3回 社会で活用されているデータ (リサーチ(調査)データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等)</p> <p>第4回 データとAI活用領域 (データ・AIを何につかえるのか: デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等)</p> <p>第5回 データとAI活用のための技術 (AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等)</p> <p>第6回 データとAIの活用現場と最前線 (データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ)</p> <p>第7回 データリテラシー① データ活用のプロセス (目的設定-データ収集-分析-考察-表現) とデータの種類</p> <p>第8回 データリテラシー② データの分布と代表値とその意味</p> <p>第9回 データリテラシー③ データのバラつき</p> <p>第10回 データリテラシー④ 相関と回帰の違い</p> <p>第11回 データリテラシー⑤ データ間での因果関係</p> <p>第12回 データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (実データ検討)</p> <p>第13回 データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習 (テキストマイニング解析含む) (実データ検討)</p> <p>第14回 データ・AIを扱う留意事項 (データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ)</p>

第15回 データを守る（個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う）

授業計画表

第1回

回	内容	予習	復習
第1回	データサイエンスとは（AI・データサイエンスを学ぶ重要性）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第2回	社会で起きている変化を知る（Society5.0・AI・IoT・ビックデータ・5G）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第3回	社会で活用されているデータ（リサーチ（調査）データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第4回	データとAI活用領域（データ・AIを何につかえるのか：デジタルサイネージ・ワントゥワンマーケティング等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第5回	データとAI活用のための技術（AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第6回	データとAIの活用現場と最前線（データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第7回	データリテラシー① データ活用のプロセス（目的設定-データ収集-分析-考察-表現）とデータの種類	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第8回	データリテラシー② データの分布と代表値とその意味	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第9回	データリテラシー③ データのバラつき	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第10回	データリテラシー④ 相関と回帰の違い	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第11回	データリテラシー⑤ データ間での因果関係	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第12回	データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習（実データ検討）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第13回	データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習（テキストマイニング解析含む）（実データ検討）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第14回	データ・AIを扱う留意事項（データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
第15回	データを守る（個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う）	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

評価方法	小テスト、演習課題等により総合的に評価する
参考文献	必要に応じて適宜指示する。
講義時使用テキスト	教科書は使用しない。
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理基礎をはじめ情報関連の科目、数学などの自然科学の分野を併せて履修することが望ましい。</li> <li>・情報化社会は現在の私たちが生活している中で着々と進展していることから、情報やデータがどのように生活に関わっているか意識することが望ましい。</li> </ul>
課題に対するフィードバック方法	次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

